

平成31年度一般会計予算の特色

予算編成方針

1 予算編成の基本的な考え方

平成31年度の予算編成は、明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町、次世代に誇れる竜王町を創る施策をさらに加速させていくこととする。

あわせて、将来を見据えた健全な財政運営を行うため財源不足の縮減を図りながらも、「将来のまちづくりに向けた計画的かつ効果的な投資および課題解決のための施策への集中」に全庁挙げて取り組む必要がある。また、財源不足の圧縮に向け歳出の削減はもちろんであるが、歳入の確保に向けた取組も重要であるため、国・県費等について、本町で活用できるものがないか情報収集に努め、有効的に使うとともに、新たな財源を開拓する努力を行う。

2 基本方針

「第五次竜王町総合計画」が目指すまちの姿「“ひと”育ち みんなで煌く交竜の郷」を実現するためには、本町の資源を創意工夫によって多様に活用し、施策を具現化していくことが大切であり、最大の課題である人口減少に立ち向かっていくためには、大胆な刷新・改革により閉塞感や停滞感を取り除く新風を吹き込むことが大切である。

平成31年度は、「第五次竜王町総合計画」の最終年度に向け、また最終年度である「竜王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の次期計画の策定を見据えて、これまでの進捗状況や成果・効果を検証し、各計画の目標達成に向けての取組や、人口減少の克服に向けた持続的な発展を目指すための効果的な施策の展開を図っていくとともに、引き続き「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れるまち竜王町」の実現に向け、「活力」と「安心」を柱とした次の8つの施策を展開していくとともに、特に重点施策プロジェクトを始めとした、今やるべきことに焦点を当て推進していく。

縦割りの組織に捉われず関係部局が課題と目標の共有を図り、横断的な体制のもと、組織の力を最大限に発揮していくこととする。

(1) 活力あるまち創り

- ①新たなまちづくり構想の推進
- ②竜王ブランドを全国へ発信
- ③工業団地等への企業誘致の推進および若者定住対策と雇用の促進
- ④竜王で子どもを育てたいという教育の充実

(2) 安心して暮らし続けられるまち創り

- ①安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと子育て支援の充実
- ②健康寿命の延伸・地域共生社会の推進

③持続可能な地域公共交通の確保

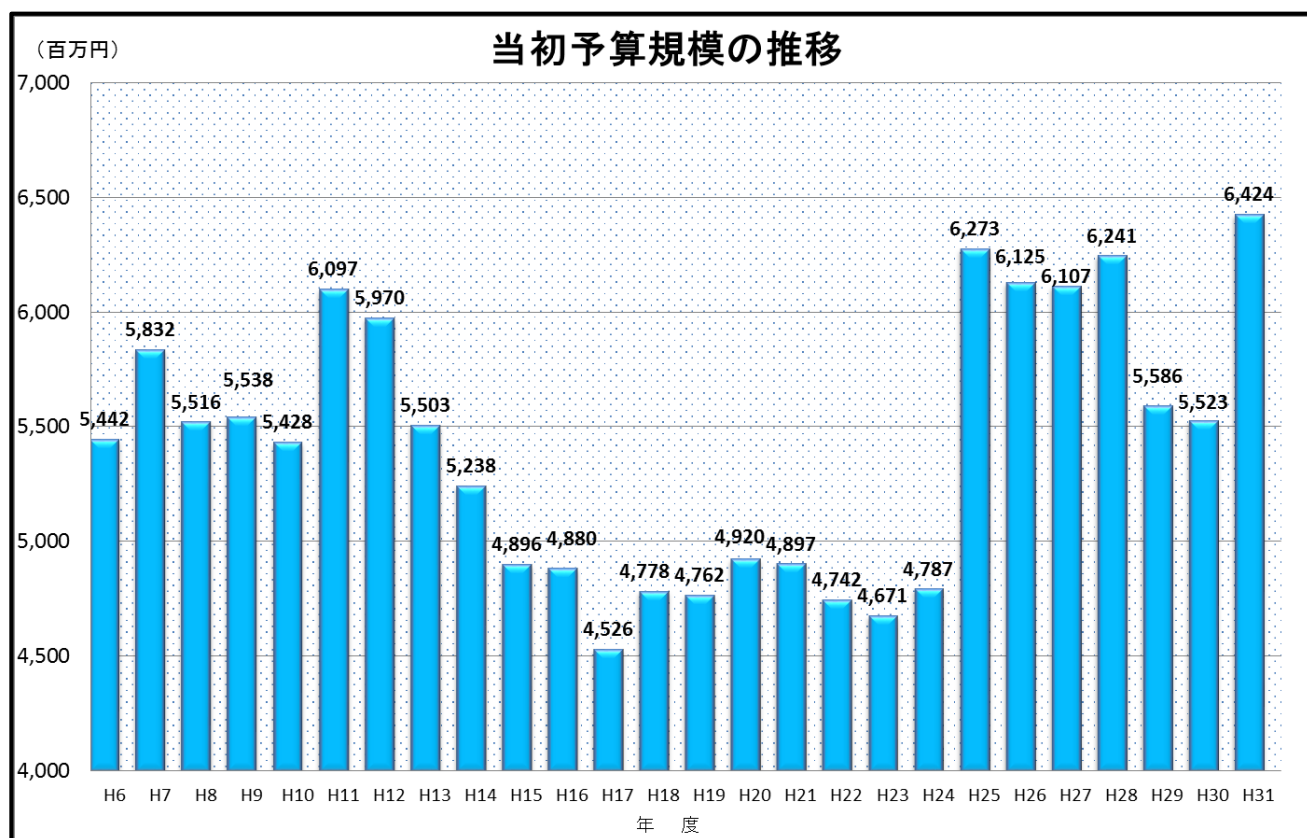
④防災情報システムの構築と自主防災組織の機能強化を核とした防災体制強化

予 算 額

一般会計の総額は、64 億 2,400 万円とし、前年度に比べ 9 億 100 万円の増、率にして 16.3%の増としました。

将来を見据えた健全な財政運営を行うため財政規律を守りながらも将来に向けた投資を積極的に行う『**新しい時代の活力・安心のまち実現予算**』としており、平成 25 年度から実施してきた滋賀竜王工業団地における整備事業については、平成 30 年度をもって事業終結したものの、予算総額は過去最高の規模となっております。

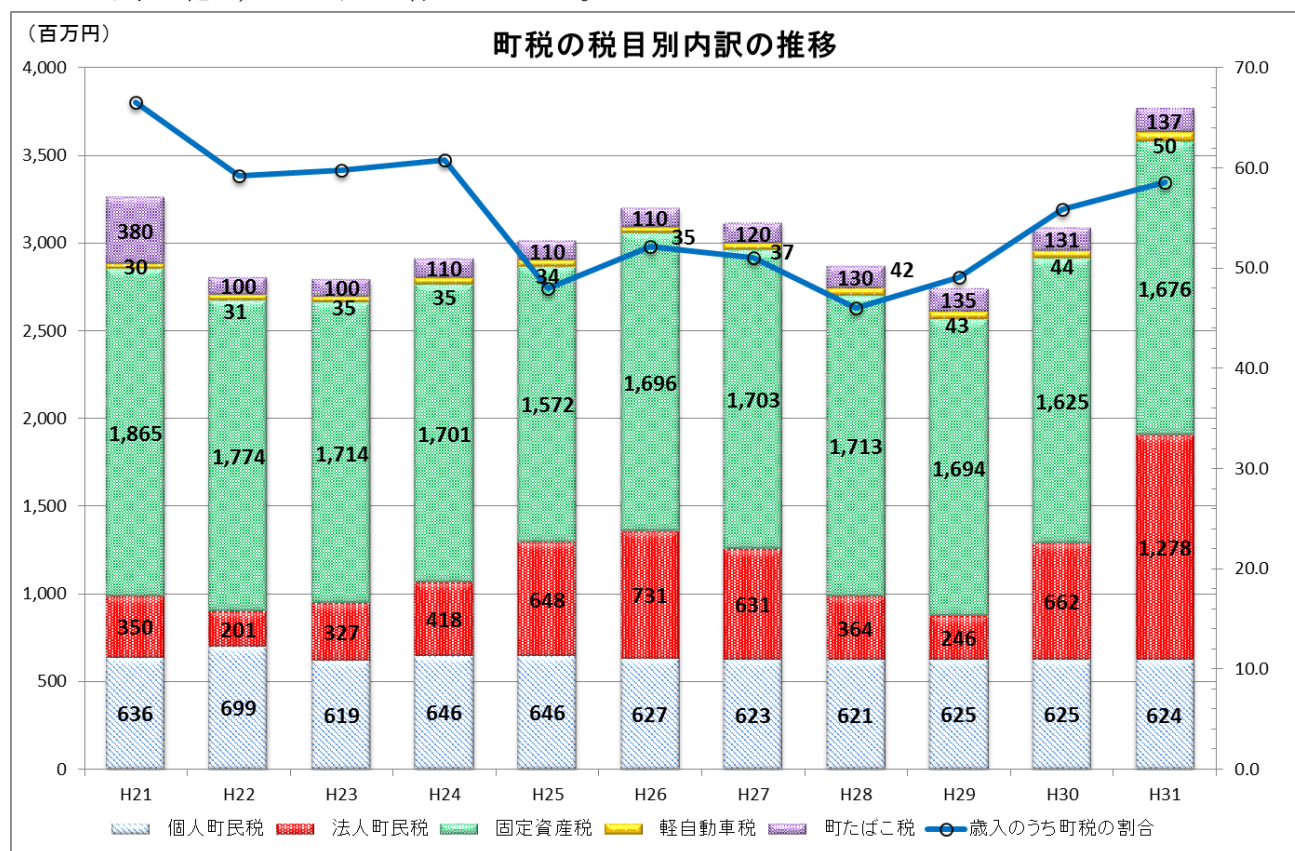
具体的には、将来に向けた投資として、コンパクトシティ化推進事業 730 万円、防災行政情報システム整備事業に 4 億 420 万円、道の駅アグリパーク竜王のモデル化推進事業に 5,300 万円、総合運動公園設備等改修事業 4,000 万円、緊急輸送道路上にある橋梁の耐震化事業 5,010 万円、将来を見据えた健全な財政運営を行うため、町債の繰上償還 1 億 4,861 万円などを計上しております。



[歳入] (主なもの)

町税 37億6,372万円 (6億7,733万円、21.9%増)

法人町民税について、景気の動向等を勘案し、前年度決算見込額と同額程度を見込み、6億1,622万円の増としました。



地方交付税 3,000万円 (1,000万円、25.0%減)

法人町民税が好調であり、安定した税収を見込んでいることから、普通交付税は引き続き不交付、特別交付税についても、1,000万円の減としました。

分担金及び負担金 6,961万円 (1,766万円、20.2%減)

10月からの幼児教育の無償化に伴い、保育所運営費負担金1,650万円の減としました。

使用料及び手数料 2,290万円 (757万円、24.9%減)

10月からの幼児教育の無償化に伴い、幼稚園保育料を508万円、預かり保育料を203万円の減としました。

国庫支出金 5億4,839万円 (7,144万円、15.0%増)

地方創生推進交付金1,400万円、児童手当負担金656万円等の減を見込む一方で、社会資本整備総合交付金対象事業の増加による同交付金5,610万円、自立支援給付費負担金1,719万円の増、また、プレミアム商品券事務費補助金491万円を新規に見込みました。

県支出金 5億606万円（6,659万円、15.2%増）

知事選挙費委託金893万円、福祉医療費補助金547万円等の減を見込む一方で、農地防災事業補助金3,000万円、農山漁村振興交付金2,650万円、参議院議員選挙費委託金1,067万円、県議会議員選挙費委託金612万円を新規に見込みました。

繰入金 2億7,181万円（3億3,722万円、55.4%減）

減債基金繰入金1億4,861万円、未来につなぐふるさと交歓基金繰入金2,582万円の増を見込む一方で、財政調整基金繰入金を5億1,118万円の減としました。

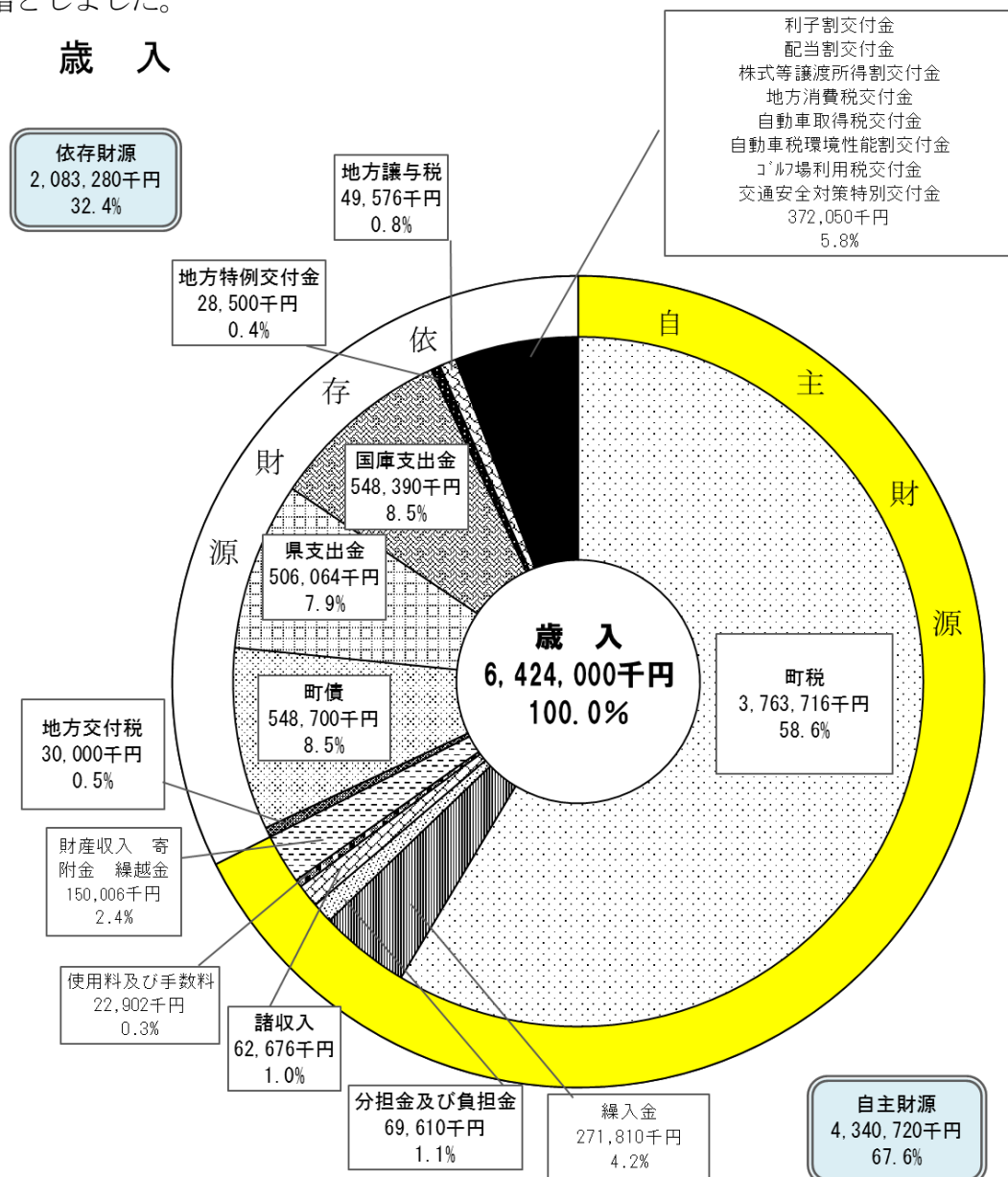
諸収入 6,268万円（4,996万円、44.4%減）

滋賀竜王工業団地整備が平成30年度をもって事業終了したことにより、竜王インター周辺地区整備協力金を3,371万円の減としました。

町債 5億4,870万円（4億1,430万円、308.3%増）

防災行政情報システム整備に伴い4億420万円の借入れを予定していることなどから増としました。

歳入



[歳 出]

《 目的別 》

議 会 費 7,795 万円 (287 万円、3.8%増)

管理用備品等が増加しました。

総 務 費 8 億 9,833 万円 (6,362 万円、7.6%増)

コミュニティ助成事業補助金、総合庁舎維持修繕事業、知事選挙費、地籍調査事業費等が減少したものの、ふるさと納税推進費、情報系システム開発・管理事業、参議院議員選挙費、町議会議員選挙費、固定資産評価替調査事業等が増加しました。

民 生 費 16 億 7,865 万円 (4,723 万円、2.9%増)

福祉医療費助成事業、児童手当、後期高齢者医療費等が減少したものの、自立支援給付事業、介護保険特別会計繰出金、放課後児童健全育成事業、保育所運営費等が増加しました。

衛 生 費 4 億 8,338 万円 (370 万円、0.8%減)

八日市布引ライフ組合（斎苑）負担金、墓地緑化等環境整備モデル事業、中部清掃組合負担金等が減少しました。

労 働 費 1,235 万円 (103 万円、9.1%増)

シルバー人材センター育成事業等が増加しました。

農林水産業費 3 億 6,046 万円 (6,569 万円、22.3%増)

農林公園施設管理事業、農業水路等長寿命化・防災減災事業等が増加しました。

商 工 費 9,566 万円 (424 万円、4.6%増)

竜王近江牛等特産品発信事業等が減少したものの、ふるさと竜王夏まつり事業等が増加しました。

土 木 費 6 億 6,171 万円 (6,859 万円、11.6%増)

竜王インター周辺地区整備費、公共下水道事業繰出等が減少したものの、道路橋梁整備事業、総合運動公園管理運営事業等が増加しました。

消 防 費 6 億 6,285 万円 (3 億 9,461 万円、147.1%増)

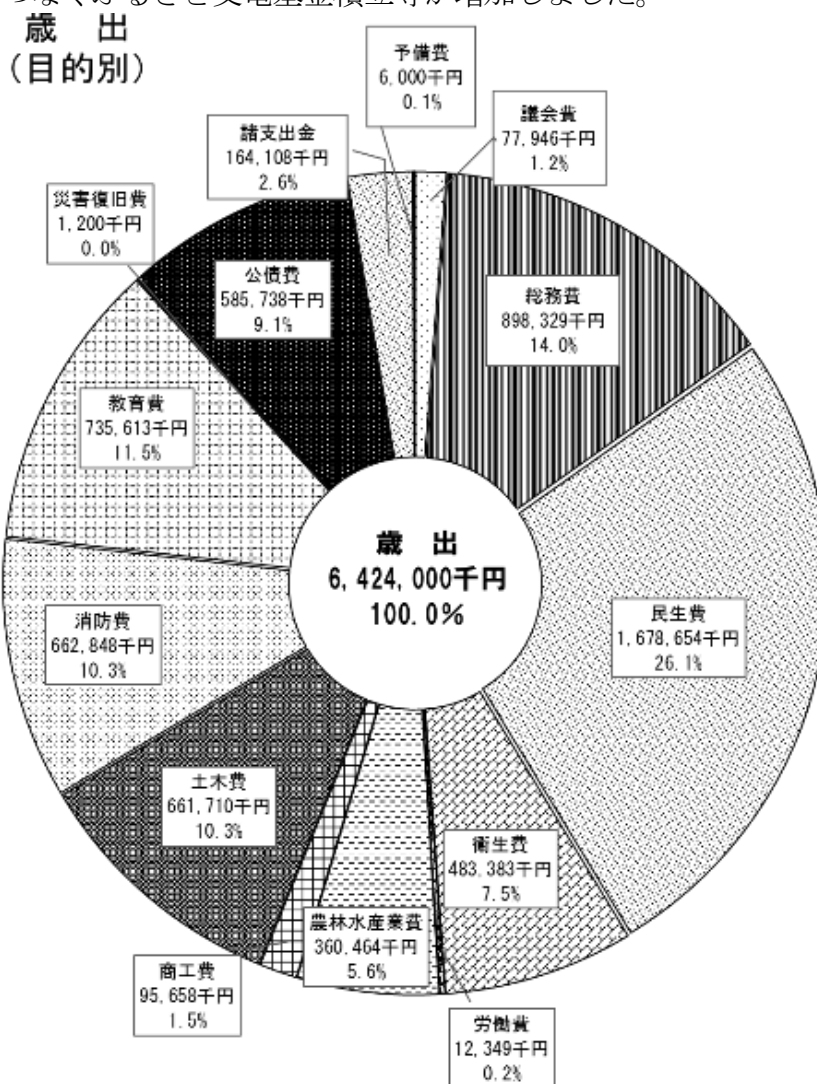
消防施設管理事業、消火栓設置事業、町防災計画作成事業等が減少したものの、防災情報通信設備整備事業等が増加しました。

教 育 費 7 億 3,561 万円 (6,433 万円、9.6%増)

中学校コンピュータ整備事業、生涯スポーツ推進事業等が減少したものの、中学校施設整備事業、竜王小学校教育振興事業、竜王西小学校教育振興事業、公民館管理運営費等が増加しました。

公 債 費 5 億 8,574 万円 (1 億 3,845 万円、31.0%増)
繰上償還 (1 億 4,861 万円) により償還元金が増加しました。

諸 支 出 金 1 億 6,411 万円 (5,229 万円、46.8%増)
未来につなぐふるさと交竜基金積立等が増加しました。



《 性質別 》

人 件 費 13 億 3,682 万円 (6,887 万円、5.4%増)
人事院勧告等により増加しました。

物 件 費 11 億 838 万円 (1 億 6,347 万円、17.3%増)

地籍調査測量業務委託料、竜王南部地区防災センター廃棄物収集運搬業務委託料、総合運動公園長寿命化計画策定業務委託料、まるごと「スキヤキ」プロジェクト推進業務委託料等が減少したものの、橋梁点検業務委託料、農業水利施設の機能保全

計画策定業務委託料、現場技術業務委託料、電算管理用備品、会計年度任用職員制度システム整備業務委託料等が増加しました。

維持補修費 1,621万円（303万円、23.0%増）

農林公園施設管理事業、防災センター管理費、竜王西小学校管理運営費等が増加しました。

扶助費 9億3,348万円（2,876万円、3.2%増）

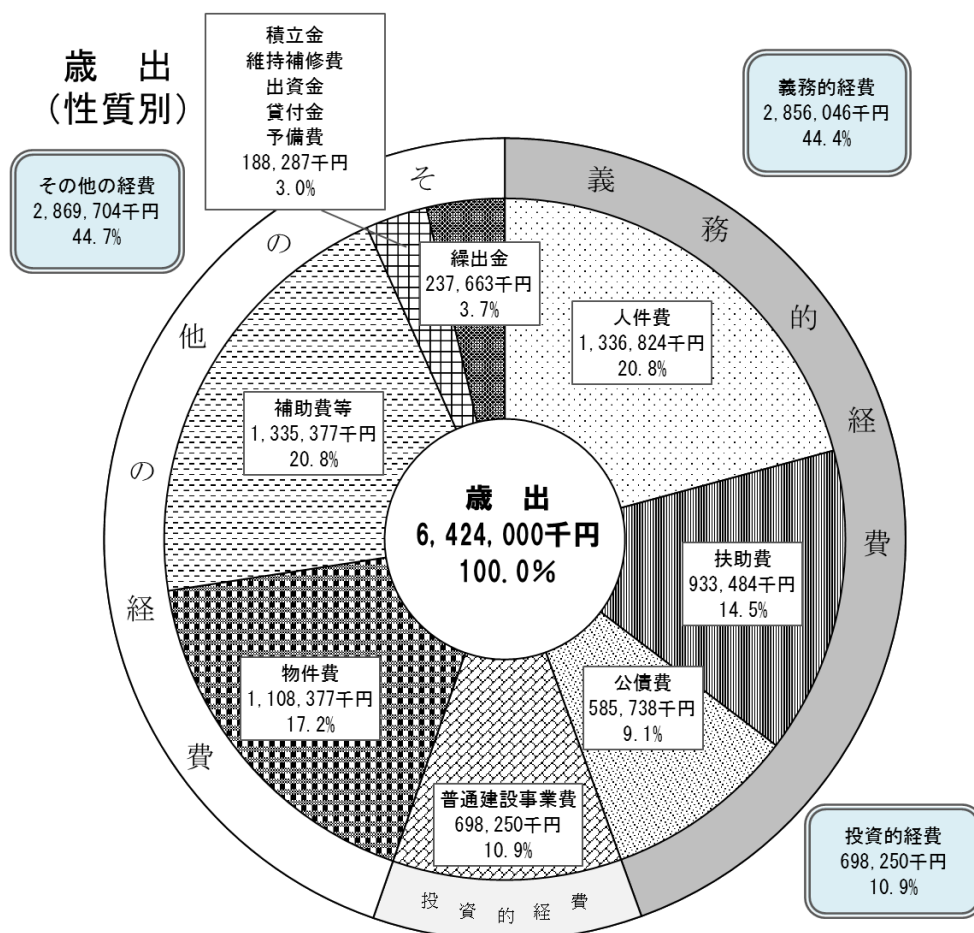
児童手当、福祉医療費助成事業等が減少したものの、自立支援給付費、保育所運営費等が増加しました。

補助費等 13億3,538万円（5,377万円、3.9%減）

ふるさと納税推進費等が増加しているものの、八日市布引ライフ組合（斎苑）負担金、コミュニティ助成事業補助金、物件移転等損失補償費（道路橋梁整備事業）等が減少しました。

普通建設事業費 6億9,825万円（4億9,214万円、238.8%増）

田園資料館改修工事、竜王インター周辺地区整備費、橋梁長寿命化修繕等が減少したものの、防災情報システム整備、農林公園施設整備、橋梁耐震修繕工事、総合運動公園設備等改修工事等が増加しました。



主要事業

平成31年度（2019年度）当初予算案については、平成29年度から開始している重点施策プロジェクトを更に力強く推進しつつ、明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町、次世代に誇れる竜王町を創るまちづくりを実現するため、「活力あるまち創り」、「安心して暮らし続けられるまち創り」を柱として、8つの施策に予算を重点配分しています。

あわせて、これまでからの財政健全化の精神は踏襲し、将来を見据えた健全な財政運営にも取り組みます。

「活力あるまち創り」

【1 新たなまちづくり構想の推進】

- ・【Ⅲ】《拡》コンパクトシティ化推進事業 730万円
10年後のコンパクトシティ化構想・30年後のグランドデザイン構想の完成と中心核整備計画の策定を行う。

【2 竜王ブランドを全国へ発信】

- ・【Ⅰ】魅力ある農業の創出事業 700万円
本町が誇る野菜・果樹・近江牛等の魅力ある農産物を真のブランドとして創生するための町独自の支援
- ・【Ⅲ】竜王近江牛等特産品発信事業 1,955万円
「近江牛」を基軸にしたまちの特産品や歴史、文化などの地域資源を「スキヤキ」というキーワードで総結集させ、まちの魅力の発信を行う。
- ・【Ⅲ】《新》道の駅アグリパーク竜王モデル化推進事業 5,300万円
平成27年度に重点「道の駅」に選定されたアグリパーク竜王について、モデル「道の駅」の選定を視野に入れ、施設の整備を行い、生産者との連携事業により農産物の販売額および来訪者の増加を見込む。

【3 工業団地等への企業誘致の推進および若者定住対策と雇用の促進】

- ・【Ⅲ】企業立地推進事業 94.6万円
町内の企業が活動しやすい環境づくりや企業誘致を能動的に実施し町の振興を図る。
- ・【Ⅲ】《拡》若者定住のための住まい助成事業 1,110万円
若者の定住をより促進するため今までの要件を見直し、住宅の新築およびリフォームならびに新規に家賃への助成を行うことで定住化を図る。

【4 竜王で子どもを育てたいという教育の充実】

- ・【Ⅲ】一人ひとりの子どもがキラリと輝く「きめ細かな教育」推進事業

6, 160. 1万円

町費による各種支援員等を町内校園に配置し、一人ひとりに寄り添うきめ細かな指導や支援を充実

- ・【Ⅲ】《新》生きて働く基礎学力定着事業

93. 7万円

生きて働く基礎学力の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学び、いわゆるアクティブ・ラーニングの視点から授業改善を図る。

- ・【Ⅲ】《拡》幼小中系統的英語教育推進事業

629万円

就学前から中学校までの一貫した竜王らしい英語教育をより一層推進する。

- ・【Ⅲ】《拡》スポーツクライミング普及啓発事業

346. 3万円

2024 年に開催される滋賀国スポにおいて、スポーツクライミング競技の開催市町に内定しており、競技の普及啓発および住民のスポーツの日常化に向けた取組に繋げる。

「安心して暮らし続けられるまち創り」

【1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと子育て支援の充実】

- ・【Ⅱ】《拡》竜王版ネウボラ（子育て世代包括支援センター）推進事業

746. 3万円

妊娠・出産・子育て期に渡り、母子保健や育児に関する様々な悩み等に専門的に対応し、子育て世代が子どもの成長や子育てに見通しが持てる切れ目のない支援の充実を図る。

- ・【Ⅱ】《拡》ひとり親福祉年金の拡充事業

315. 6万円

ひとり親家庭に対する福祉の増進と消費税増税に伴う措置として、既存の所得制限要件の緩和を図り年金を支給する。

- ・【Ⅱ】小中学生医療費無償化事業

2, 998万円

小学生から中学校卒業までの医療費の無償化を継続（平成29年10月から実施）

- ・【Ⅲ】子育て応援軽自動車購入助成事業

108. 5万円

定住促進および子育て世帯の支援を目的に軽自動車購入の助成を行い、地域経済の活性化を図る。

【2 健康寿命の延伸・地域共生社会の推進】

- ・【Ⅲ】《拡》健康ベジ7（セブン）チャレンジ

210. 1万円

本町の健康課題である糖尿病および高血圧症などの予防のために、健康いきいき竜王 21 プランに基づき、地域や関係機関と協働して取組を進めることで、健康寿命の更なる延伸を図る。

- ・【Ⅳ】地域支え合いしくみづくりモデル事業 9 2 万円
地域課題を洗い直し、地域の支え合いで解決できる仕組みづくりを検討し、持続可能という観点から地域コミュニティを強化するモデル的な取組を支援
- ・【Ⅳ】《新》住んでいるみんなが笑顔になるまちづくり事業 4 2 2. 6 万円
地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みる体制づくりの支援。他人事を我が事に変えていける地域づくり
- ・【Ⅳ】《新》課題丸ごと解決事業 4 1 4. 6 万円
一相談機関だけでは解決できない課題に的確に対応するため、制度ごとの相談機関を総合的にコーディネートし、包括的な相談体制の構築を図る。

【3 持続可能な地域公共交通の確保】

- ・【Ⅱ】《拡》公共交通システムの構築事業 1, 2 8 5 万円
通学定期補助などを引き続き行い、子育て支援定住促進等についても目的とした中で社会実験も合わせて実施し住民ニーズも探る。

【4 防災情報システムの構築と自主防災組織の機能強化を核とした防災体制強化】

- ・【Ⅱ】《新》竜王町防災行政情報システム整備事業 4 億 4 2 0 万円
全国各地で多発している災害に備え、情報伝達手段の充実化および多重化を図るため防災行政情報システムの整備を推進
- ・【Ⅱ】町防災計画作成事業 4 4 1. 3 万円
法改正等も踏まえ現状にあった計画へ見直し、また、近年の災害を踏まえ職員の対応マニュアルについても見直しを行う。

その他

- ・【一】《新》町議会議員選挙費 1, 0 5 4 万円
平成 31 年 9 月に執行予定の町議会議員選挙の執行に係る経費
- ・【Ⅱ】《新》プレミアム商品券発行事業 4 9 1 万円
消費税・地方消費税引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯主向けのプレミアム商品券の発行等を行う。

- ・【Ⅳ】《新》ふるさと竜王夏まつり事業 375万円
ふるさと竜王の魅力の発掘と再発見、家族・地域連帯感の結びつき、未来を担う子どもたちの思い出づくり、町の活力の結集と拡大を目的に隔年で開催している夏まつりの実行委員会へ補助を行う。
- ・【Ⅰ】《新》ふるさと文化振興事業（文化祭実行委員会補助金） 100万円
日常の文化芸術活動発表と住民の交流の場として隔年で開催している竜王町文化祭の実行委員会へ補助を行う。

※【Ⅰ】～【Ⅳ】は、第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方（基本理念）に基づいて分類しております。

【Ⅰ】：「豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり」

【Ⅱ】：「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

【Ⅲ】：「チャンスを活かすたくましいまちづくり」

【Ⅳ】：「町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり」

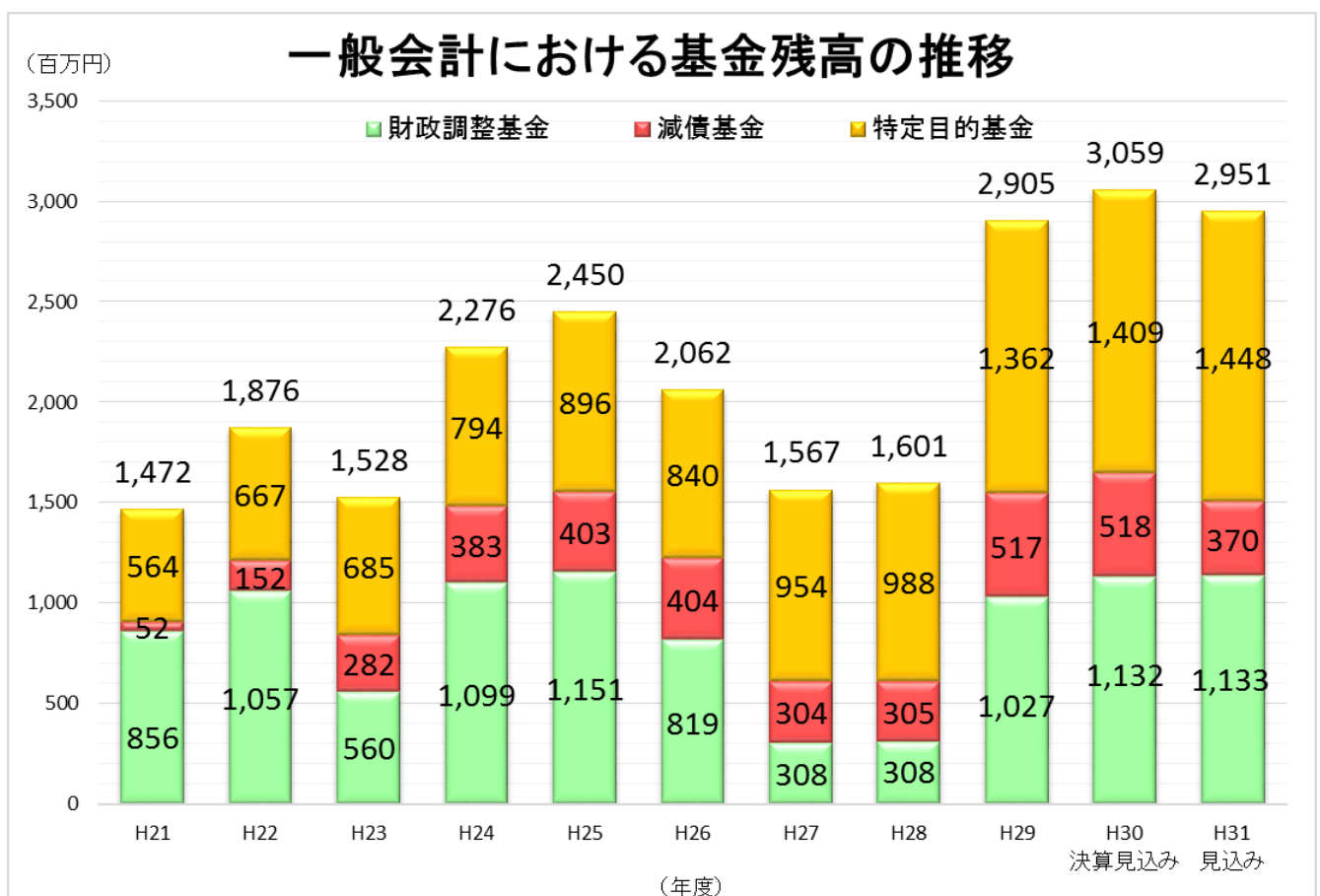
基金残高見込みについて

平成30年度一般会計当初予算に計上していた財政調整基金からの繰入金5億1,118万円について、当初予算編成では、先行きの不透明な部分のある法人町民税について、収入不足を避けるため、約6億6,000万円と厳しく見込んでいたが、平成29年度に引き続き12億円程度の税収を見込めることから、その全額を減額する見込みとなった。

加えて、個人町民税等についても税収が微増していることから、財政調整基金への積立てが可能となり、約1億円程度を予定している。これにより、平成30年度末で同基金の残高は11億円強になると見込んでいる。この状況に鑑み、平成31年度一般会計当初予算（案）においては、引き続き安定した税収を確保できると見込み、同基金から繰入れを行わない予算編成とした。これにより平成31年度末の同基金残高は前年度と同水準の11億円強を維持できると見込んでいる。

減債基金については、町債の一部を繰り上げて償還するため1億4,861万円の取崩しを予定しており、平成31年度末の同基金残高は3億7,000万円と見込んでいる。

また、その他の特目基金について様々な行政課題に対応するため各特定目的基金から約1億2,300万円の繰入れを予定しているが未来につなぐふるさと交産寄附金約1億2,000万円、竜王町立竜王小学校改築基金への積立て3,000万円等を見込んでいることから積立額の方が過大となり、平成31年度末の残高は14億円強を見込んでいる。

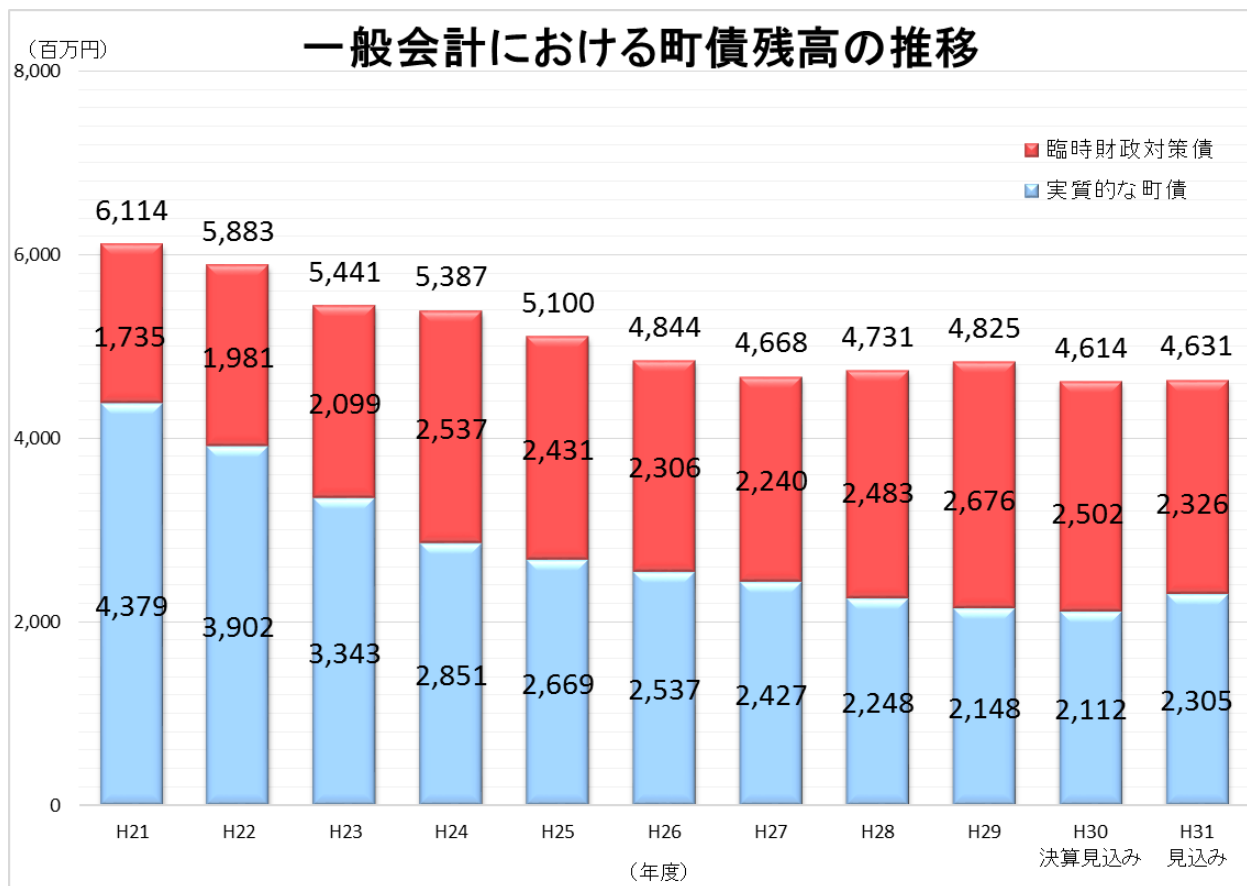


町債の発行および残高見込みについて

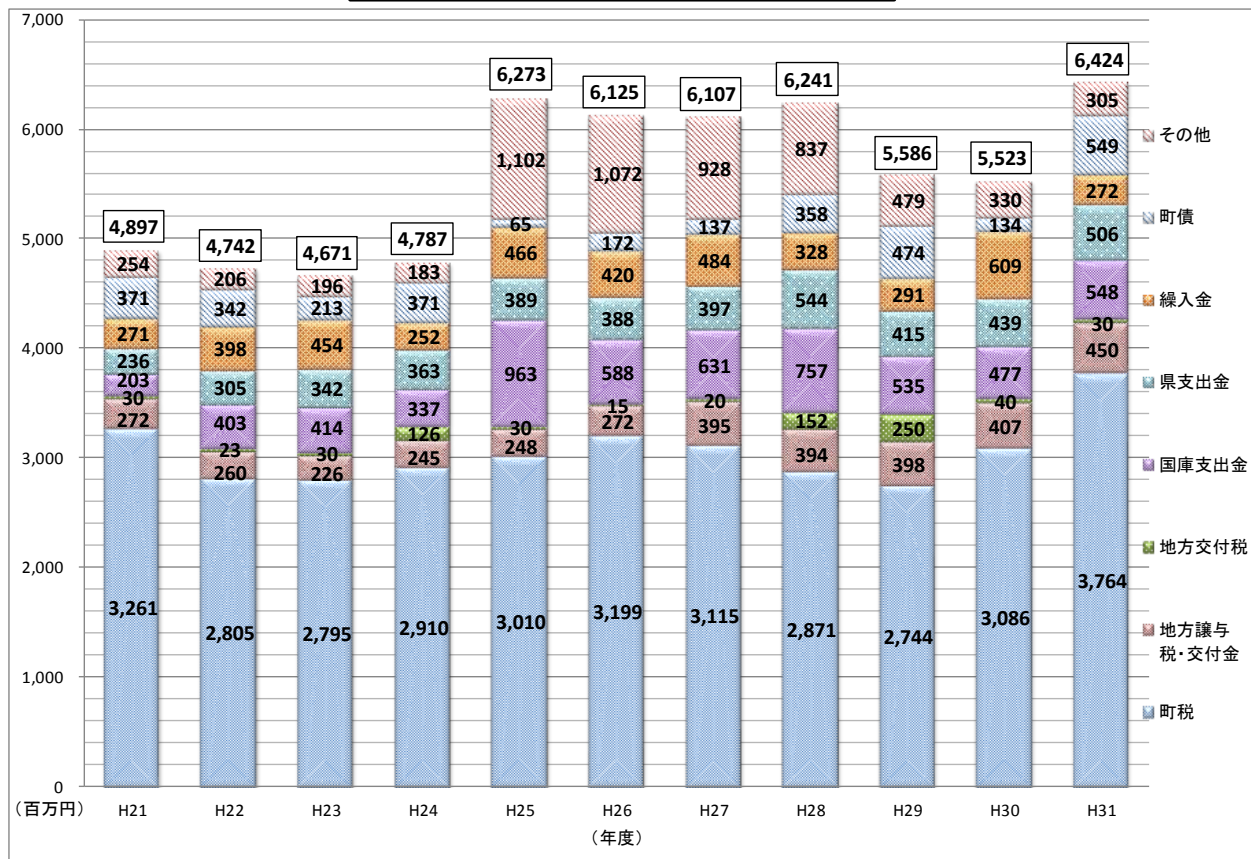
町債発行額は、5億4,870万円で前年度当初予算と比べると4億1,430万円（308.3%）の増としている。この主な要因は、防災行政情報システムの整備に当たって、4億420万円の町債発行を予定しているためである。

また、平成31年度末の町債残高は、46億3,100万円、対前年度0.5%増となる見込みである。本年度に関しては、例年の元金償還約4億円に加えて、過去に借り入れた町債の一部1億4,861万円の繰上償還を予定しているが、5億4,870万円の借入れを見込んでいるため、これまで発行抑制等により減少傾向にあった町債残高が微増する見込みである。

なお、臨時財政対策債については、引き続き普通交付税の不交付を見込んでおり、発行する予定がないことから、減少を見込んでいる。



一般会計歳入予算の内訳の推移



一般会計歳出予算の内訳の推移

